

### 第3回統合イノベーション戦略推進会議議事録

1. 日時 平成30年12月14日（金） 10:20～10:38
2. 場所 総理大臣官邸2階小ホール
3. 出席者

議長	菅 義偉	内閣官房長官
議長代理	平井 卓也	内閣府特命担当大臣(科学技術政策、知的財産戦略、宇宙政策) 兼 情報通信技術(IT)政策担当大臣 兼 健康・医療戦略を担当する国務大臣
副議長	宮腰 光寛	内閣府特命担当大臣(海洋政策)
構成員	石田 真敏	総務大臣
同	山下 貴司	法務大臣
同	河野 太郎	外務大臣 (辻 大臣政務官代理出席)
同	柴山 昌彦	文部科学大臣
同	根本 匠	厚生労働大臣 (新谷大臣政務官代理出席)
同	吉川 貴盛	農林水産大臣
同	世耕 弘成	経済産業大臣
同	石井 啓一	国土交通大臣
同	原田 義昭	環境大臣 (城内 副大臣代理出席)
同	岩屋 毅	防衛大臣
同	渡辺 博道	復興大臣
同	山本 順三	国家公安委員会委員長
同	茂木 敏充	経済再生担当大臣
同	片山さつき	内閣府特命担当大臣(地方創生、規制改革)
同	櫻田 義孝	東京オリンピック・東京パラリンピック競技大会担当大臣
	西村 康稔	内閣官房副長官
	野上浩太郎	内閣官房副長官
	杉田 和博	内閣官房副長官
	和泉 洋人	内閣総理大臣補佐官

#### 4. 議題

- (1) S o c i e t y 5 . 0 の実現加速のためのスマートシティの推進について
- (2) 今後イノベーションを進める上で重要な3つの分野（A I、バイオ、光・量子）について

#### 5. 資料一覧

資料1 S o c i e t y 5 . 0 の実現加速のためのスマートシティの推進

資料2 地方創生推進事務局資料

資料3 国土交通省資料

資料4 今後イノベーションを進める上で重要な3つの分野（A I、バイオ、光・量子）について

資料5 イノベーション政策強化推進のための有識者会議「安全・安心」（第1回）の結果概要

#### 6. 議事

##### 【平井科学技術政策担当大臣】

第3回統合イノベーション戦略推進会議を開会します。

それでは、議事に入ります。1つ目の議題は、「S o c i e t y 5 . 0 の実現加速のためのスマートシティの推進について」です。まず、私の方から御説明申し上げます。

資料1の「S o c i e t y 5 . 0 の実現加速のためのスマートシティの推進」に沿って御説明申し上げます。

資料1ページを御覧ください。スマートシティに関しては、世界各地で多数の取組が行われており、国際競争が活発化している一方で、都市同士の連携の動きも進んでいます。

こうした世界の潮流の中、我が国においては、各本部・省庁がモデル事業などを実施しているものの、縦割りの取組になっていました。一方、先日、片山地方創生担当大臣が設置された「スーパーシティ構想の実現に向けた有識者懇談会」において、抜本的な制度改革によって、未来の社会・生活のショーケースとなる都市を実現する構想が示されたところです。

資料2ページを御覧ください。破壊的イノベーションが加速化する世界において、我が国が世界に遅れをとらないためにも、こうしたスマートシティの実装を重要な出口として、関係本部・省庁が連携して、政府一体の取組を開始することが不可欠です。特に、全体アーキテクチャを設計するとともに、S o c i e t y 5 . 0 のソリューションを実装して新しい社会・価値を国民に明らかにし、さらに国際化にも対応していくことが重要です。

資料3ページを御覧ください。このため、関係本部・府省によるタスクフォースを設置し、地方創生推進事務局等とも連携して、スマートシティに係る取組を進め、S o c i e t y 5 . 0 の実現を加速化したいと思います。

次に、片山地方創生担当大臣から御説明をお願いします。

【片山地方創生担当大臣】

ありがとうございます。資料2の1ページ目を御覧くださいませ。

「スーパーシティ」構想につきましては、10月23日の国家戦略特区諮問会議において、安倍総理から基本コンセプトを早急に取りまとめるよう御指示があり、さる11月26日に、新たに設置いたしました有識者懇談会で、中間取りまとめを行いました。このスーパーシティの実現には、行政手続ワンスオンリー、キャッシュレス、自動走行・自動配送、遠隔医療・介護や遠隔教育などの取組を、分野横断的なAIやビッグデータの仕組みを活用しつつ、実証ではなく、都市に実装すること、住民合意など住民参画を得ることを前提に、より柔軟かつ迅速にルール作りが行われるような制度整備を進めていくことが必要でございます。

次に、資料の2ページ目を御覧くださいませ。そのために、実現すべき制度整備やインフラ整備の詳細を、極力早期に固め、来年度のエリア選定・公募に向けて動きたいと考えております。このうち、実装すべき新たな技術やサービスなどにつきましては、Society 5.0やスマートシティ施策に取り組んでこられたCSTIや関係府省からお知恵を頂くことが必要でございます。本会議を通じて府省間の連携を密にさせていただきたいと考えております。

スーパーシティの実現に向けましては、関係各府省の御支援・御協力を何とぞよろしくお願いいたします。

【平井科学技術政策担当大臣】

次に、石井国土交通大臣、お願いします。

【石井国土交通大臣】

資料3、国交省提出資料を御覧いただきたいと思っております。

Society 5.0の実現に向けまして、国交省では、移動・物流、インフラなどの様々な分野で、AI、IoT等の新技術やデータを積極的に活用したスマートシティ関連施策に取り組んでおります。

第一に、資料の左上にございます、「スマートシティのモデル事業の推進等」についてであります。内閣府等の関係省庁と一体となりまして、都市・地域問題、社会問題に係るソリューションシステムを実装するモデル事業の実施を、来春より予定しております。

これに向けて、本日より、企業、自治体を対象にしまして、今後のスマートシティの実現の参考となるシーズ・ニーズやまちづくりのアイデアについて、提案の募集を開始する予定であります。

第二に、資料の右上にあります、「次世代モビリティの実現」についてです。国交省では、自動運転の実現に向けまして、国際基準等のルール整備やシステムの実証実験に取り組んでおります。また、欧米を中心に、複数のモードの検索・予約・決済を一括で提供するMaaS、Mobility as a Serviceが広がりつつあります。こうした新たなサービスの活用に向け、飲食店・ホテルの検索・予約、観光案内など、移動に付随する様々なサービ

スも同時に提供するなど、各地における計画的な取組をしっかりと推進してまいります。

第三に、資料の下側の「i-Construction」についてであります。全ての建設生産プロセスでICT等を活用し、現場の生産性向上を目指す「i-Construction」の取組の成果として生み出される構造物の3次元データや、地形・地盤情報等のデータを集約・共有し、サイバー空間に国土を再現するインフラ・データプラットフォームの構築に着手をしております。このプラットフォームと気象・防災、交通・物流データ、民間や自治体のデータなどと連携することで、スマートシティ推進の基盤としてまいります。

国土交通省では、こうした取組を通じまして、スマートシティの推進を加速化することとしておりまして、先月には、経団連との会合において、私と中西会長との間で、スマートシティの実現に向け、積極的に連携・協力していくことを合意いたしました。今後とも、統合イノベーション戦略推進会議の体制の中で、Society 5.0時代が目指す新たな価値やサービスの創出、人々の豊かさの実現に貢献してまいります。

以上です。

#### 【平井科学技術政策担当大臣】

ありがとうございました。私も科学技術・イノベーション等の担当大臣として、各本部・省庁の取組を統合し、連携してスマートシティに取り組んでまいります。各大臣は御協力をよろしく申し上げます。

次に、二つ目の議題は、今後のイノベーションの核となる主要技術戦略についてです。

まず、私の方から御説明申し上げます。

資料4の「今後イノベーションを進める上で重要な3つの分野」に沿って、御説明申し上げます。

資料1ページを御覧ください。AI分野は、第2回推進会議において有識者から示された具体策の方向性を踏まえ、現在、教育改革、研究開発、データ、ELSI、社会実装などからなるAI戦略パッケージを検討しております。

このうち教育改革については、AI時代を担う人材育成に向けて、読み・書き・そろばんのように、誰もがAIを使いこなせるよう、初等中等教育から大学、社会人に至るまで、文理の区別なく、各レベルに応じて、AI・数理・データサイエンスのリテラシーを高めます。また、質の高いAI人材が適切に採用・処遇されるためにも、輩出するAI人材の質を担保するための認定の仕組みを教育界・産業界と連携して構築します。

資料2ページを御覧ください。また、ムーンショットなテーマにより、世界中から人材が集まる研究環境を整備するとともに、農業、健康・医療・介護等のデータ基盤の構築や、データ品質指標の策定等を図ります。関係省庁においては、AIの活用を前提にした社会になるよう、制度改革や環境整備に努めてください。

ELSIについては、セキュリティ確保、個人情報保護、人間中心などからなるAI社会原則の策定を進め、G7、G20等に情報発信をして、国際的な議論を主導していきます。

資料3ページを御覧ください。バイオテクノロジー分野では、欧米等の動向を踏まえて、来年夏を目指して、新戦略を策定する予定です。この新戦略は、産官学がコミットした、目指すべき社会像・市場領域が明確なものである必要があります。

資料4ページを御覧ください。また、光・量子技術は、社会に変革をもたらす革新技術であり、我が国としても、「第5期科学技術基本計画」及び「統合イノベーション戦略」において、重要技術と位置づけています。

今後の取組を強化するため、課題や研究開発の方向性を明確にする必要があります。このため、バイオテクノロジー及び光・量子技術について、それぞれ有識者会議を設置し、早急に本格検討を開始したいと思っております。

では、議題1・2について、合わせて関係大臣から御発言いただきたいと思っております。時間も限られておりますので、御配慮をお願いいたします。

まず、石田総務大臣、お願いします。

#### 【石田総務大臣】

総務省は「Society 5.0時代の地方」をキーワードに、イノベーションを取り入れながら、地方公共団体とともに持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。

ICTを街づくりに活かすスマートシティは、イノベーションの社会実装やデータ利活用によって、Society 5.0を具現化しようとするものであると考えており、その実現に向け、関係府省と連携しながら積極的に取り組んでまいります。

また、AIは「Society 5.0時代の地方」を支える基盤となる重要な技術です。

総務省としても、これまでも「AI開発原則」などを提案してきたところですが、引き続き政府全体のAI社会に関するルールづくりやSociety 5.0時代を見据えたAIの利活用に向け、関係府省と取り組んでまいります。

さらに、情報通信研究機構とともに、通信の安心・安全を確保する量子暗号通信の基礎技術とその実利用に向けた研究開発を進めており、こうした知見を活かして、今後の政府全体の戦略策定に貢献してまいります。

以上です。

#### 【平井科学技術政策担当大臣】

次に柴山文部科学大臣、お願いします。

#### 【柴山文部科学大臣】

AI戦略については、今、平井大臣からもお話があったとおり、大学における数理・データサイエンス教育の全国展開の加速化など人材育成の取組を中心に、関係省庁や産業界と連携の上、引き続き具体化に向けた検討を進めてまいります。

バイオ分野、光・量子分野については、我が国の成長に重要な分野として、独創的・革新的

な研究シーズの創出や研究インフラの充実を強力に推進してまいります。

また、Society 5.0時代に対応し、児童生徒の学びの質を高めるため、教師を支援するツールとして、AIやビッグデータなどの先端技術の導入・活用、遠隔教育の推進について、具体化を進めてまいります。

これらの取組を通じて、文部科学省といたしましても、Society 5.0の実現に貢献する科学技術イノベーションの推進の取組を加速してまいります。

以上です。

**【平井科学技術政策担当大臣】**

次に、世耕経済産業大臣、お願いします。

**【世耕経済産業大臣】**

「AI戦略パッケージ」については、次の3点が重要であります。

第一に、AIを社会実装する基盤の構築です。具体的には、データの高度利活用に向けた、研究開発の強化に加えて、企業間・産業間でシステムを連携する際のモデルとなるアーキテクチャの整備であります。

第二に、人材確保です。産業界の実課題を活用し、AIやデータを使いこなせる人材を育成する仕組みを構築します。

第三に、AIによって実現すべき未来社会を発信することです。来年のG20貿易・デジタル経済大臣会合で、日本の取組を発信してまいります。

バイオ分野については、医療・農業だけでなく、高機能性素材など、工業分野でもバイオテクノロジーの活用を進めることが重要です。日本の素材開発力を強化するため、バイオデータを企業間で共有する取組を進めております。

スマートシティや量子分野についても、自動走行や分散型エネルギーシステムの構築、量子コンピューターの開発等の取組を進めます。

以上です。

**【平井科学技術政策担当大臣】**

次に、城内環境副大臣、お願いします。

**【城内環境副大臣】**

環境省は、持続可能な社会の実現に向けて、地域における「脱炭素化」と「SDGs」の同時達成を進めるべく、第五次環境基本計画で打ち出した「地域循環共生圏」の実現を目指しております。現在、ポーランドで開催中の気候変動枠組条約第24回締約国会議（COP24）におきましても、大臣から発信しているところであります。

「Society 5.0」の地域社会への実装とも言える「スマートシティ」は、イノベー

ションを活用し、エネルギーや輸送、水、廃棄物等、都市のあらゆる要素の最適管理を行う点で、「地域循環共生圏」のモデルになるものと考えております。

環境省といたしましても、関係各省と連携し、「Society 5.0」と「地域循環共生圏」の一体的な実現に向けて取り組んでまいります。

以上です。

**【平井科学技術政策担当大臣】**

ありがとうございました。

次に、報告事項として、「安全・安心有識者会議について」、私から御説明申し上げます。

本推進会議のもと、「安全・安心」に関する有識者会議を設置し、12月4日に第一回会合を開催しました。各方面の有識者から、ムーンショット型研究開発事業の促進など重要な御意見をいただいております。今後、関係省庁と連携して検討を進め、各施策に取り組んでいきたいと思っております。

では、最後に官房長官から御挨拶をいただきたいと思っております。

**【茂木経済再生担当大臣】**

その前に発言いいですか。先日、石田総務大臣が、違う会議で、Society 5.0について大きな会合をやったんですけれども、そこにいる人の数パーセントしかSociety 5.0という言葉すら御理解いただけていなかった、とおっしゃってました。現実として問題があるんだと思います。今日もスーパーシティ、スマートシティ、イノベーション政策、ムーンショットプロジェクト、Ma a Sと、たくさん出てまいります。それぞれ重要だと思うんですけれども、どこまでこういったワーディングを使うのか。使うなら、きちんと説明をする、周知を徹底していく、こういうことがとても重要だと思います。

**【平井科学技術政策担当大臣】**

そのように我々も考えておりましたので、対応させていただきたいと思っております。

では、最後に官房長官から御挨拶をいただきたいと思っておりますので、プレスを入れてください。

(プレス 入室)

**【平井科学技術政策担当大臣】**

それでは、官房長官、お願いいたします。

**【菅官房長官】**

本日は、スマートシティについて議論をいたしました。スマートシティは、我が国が目指すSociety 5.0のショーケースとして、国内のみならず、世界に発信する場にしなければ

ばならないと考えます。

担当の平井大臣、片山大臣の連携はもちろんのこと、関係司令塔本部や、府省の関係施策を投入して、Society 5.0を実現すべく、政府一体となったスマートシティの取組を開始いただきますようお願いいたします。

また、今後、イノベーションを進める上で重要な三分野については、具体的な戦略を示す必要があります。

「AI」分野については、早急に戦略パッケージの骨子案をまとめ、次回の総合科学技術・イノベーション会議で報告していただきたいと思います。その上で、来年夏までに完成されることをお願いします。

「バイオ」及び「光・量子」分野については、有識者会議を設置し、本格的な検討の開始をお願いします。特に「バイオ」分野については、来年夏までに新たな戦略策定をお願いいたします。

これらは平井大臣を中心に関係大臣と連携をして進めるようお願い申し上げます。

**【平井科学技術政策担当大臣】**

ありがとうございました。

では、プレスの方はここで退室をお願いいたします。

(プレス 退室)

**【平井科学技術政策担当大臣】**

本日の議事は以上です。

本日の資料及び議事録は公表させていただきます。

以上で会議を終了します。

以上